



2020年7月2日

イオン液体研究会
会員各位

公益社団法人電気化学会
Electrochemistry 編集委員長
加納 健 司

電気化学会 Electrochemistry 誌第 65 回論文特集のご案内

フッ素化学・材料と電気化学 Fluorine Chemistry and Materials for Electrochemistry

フッ素化学は電気化学の発展と共にあったと言っても過言ではないほど関連の深い分野です。フッ素の単離、電解技術におけるフッ素化合物の合成、また融剤としての利用に始まり、無機、有機、高分子各分野においても長年にわたって電気化学はその発展に貢献してきました。その流れは、近年でもフッ素をキャリアとする電池の開発、複合アニオン材料への応用、有機電解による新規含フッ素化合物の合成、含フッ素イオン液体としての利用、有機高分子を用いた誘電デバイスへの応用等、この数十年の間でも極めて多くの電気化学者に活用されています。Electrochemistry 誌においてもフッ素をキーワードとする記事は過去 20 年で 100 を越えており、多くの読者の関心を呼んでいます。

第 65 回論文特集は前回の「炭素」に引き続き、電気化学と関係の深い「フッ素」を取り上げることになりました。今回、論文特集としては初めての協賛事業として企画し、電気化学会外のフッ素を取り扱う諸学会にも呼びかけ、電気化学とフッ素化学の接点となる論文特集として企画いたしました。

この企画により、電気化学会員のみならず、貴会会員にも論文特集にご投稿いただき、イオン液体を始めとするフッ素に関する物質やその特性に関する議論を本会会員とともに深めさせていただきたいと考えております。したがって、電気化学への関連性が直接示されていない内容についても歓迎いたします。是非この機会に関連のご研究成果をオープンアクセス論文として、奮ってご発表ください。

- ・企画 電気化学会 Electrochemistry 編集委員会
- ・協賛 イオン液体研究会・日本フッ素化学会

- ・ キーワード

フッ素を含む

電気化学反応によるフッ素材料の創製 (Creation of fluorine materials by electrochemical reaction)

フッ素材料を用いた電気化学材料の合成(Synthesis of electrochemical materials using fluorine materials)

電気化学をもちいた含フッ素物質の物性測定・解析

(Characterization and analysis of properties of fluorine-containing chemicals via electrochemical methods)

含フッ素複合アニオン材料とその活用 (Fluorine-containing mixed-anion materials and their utilization)

フッ素系ポリマー・フッ素膜・フッ素含有イオン液体の合成およびそれを用いた電気化学プロセス

(Synthesis and the electrochemical process for fluorine-based polymers, ionic liquids and membranes)

各フッ化物 (ガラス・セラミックス・ダイヤモンド等) Various fluorides (glass, ceramics, diamond etc.)

フッ素系医工学材料 (Fluorochemical materials for medical use)

等。

論文の種類

英文による報文・コミュニケーション・ノート（技術報文を含む*）・総合論文

*技術報文は近く予定されている投稿規程の改訂によりノートとの統合を検討しております。投稿には現行の投稿規程と手引きを適用していただいても結構です。

編集委員会の依頼による **Headline** 論文が企画されます。

- 総説については本会または本会専門委員会の推薦が必要ですので、編集委員会までメールでお問い合わせ下さい。

投稿申込から掲載まで

本誌ホームページ <https://journal.electrochem.jp/> をご覧下さい。ORCID, Supporting Information, Abstract Graphics のご活用も可能です。

論文掲載料(Article Processing Charge)

論文掲載料は 150,000 円(消費税含・6 ページ以内)です。但し、本会各種会員、協賛学会員については、論文掲載料の 2/3 の減額が適用され、50,000 円(消費税含・同)となります。詳細は

https://www.electrochem.jp/english/electrochemistry/j2_information_for_authors.pdf

の APC に関する記載をご覧下さい。

期 限

投稿申込 2020 年 9 月 15 日（火）

<https://journal.electrochem.jp/sf65.html> にて必要事項を記載の上、お申し込み下さい。

投稿締切 2020 年 12 月 1 日（火）

投稿の手引き（https://www.electrochem.jp/english/electrochemistry/j1_how_to_submit.pdf）を良く読み、右記 URL <https://www.editorialmanager.com/electrochemistry/> から電子投稿して下さい。またその際に、第 65 回論文特集「フッ素化学・材料と電気化学」への投稿である旨ご指定下さい。

審 査 編集委員から依頼された 2 名の査読委員により査読され、その結果に基づき、掲載の採否が決定されます。2020 年 3 月以降、査読の標準日数が 10 日となっていますので、積極的なご投稿をお願いいたします。

入稿締切 2020 年 1 月 25 日（月）

査読・APC 決済確認済の原稿が入稿手続となります。

早期掲載 論文の入稿後、約 2 週間で早期公開が行われます。著者校正は早期公開手続と平行して行われるため、早期公開版は **Accepted Manuscript** または **Uncorrected Proof** となりますことを御了承下さい。

掲 載 通常、2021 年 3 月 5 日発行の Vol.89, No.2 に掲載されます。ただし、査読・修正の進捗によっては掲載が遅延することもありますので、お早めにご投稿下さい。

- 問い合わせ先** メールのみで対応いたしますので御了承下さい。

論文の投稿から掲載決定まで

Electrochemistry 誌 編集委員会 (ed.board-e@electrochem.jp)

掲載決定後の諸手続きについて

Electrochemistry 誌 編集事務局 (ed.apc-e@electrochem.jp)

以 上